

行動科学・実装科学セミナー

第3回実装科学セミナー

演者： 京都大学大学院 医学研究科 社会健康医学系専攻
健康情報学分野 講師

岡田 浩 先生

**演題：薬局での高血圧患者への声掛けは有効なのか？
COMPASS-BP研究結果から**

日時 2021年7月9日(金) 16:00 ~ 17:00

会議ツール Zoom

※ 参加IDとパスワードはメールにてお知らせします

参加申込 <https://forms.office.com/r/emtpCSxvx3>

参加申込メ切 2021年7月7日(水)

(国立がん研究センター所属の方は参加申し込み不要です)
(今回のセミナーの記録動画の公開は未定です)

講師プロフィール：

福岡教育大学卒業後、小中学校講師を経て2005年長崎大学薬学部卒。卒後は薬局勤務の傍ら、薬局での高血圧・糖尿病患者の介入研究を実施。2016年カナダAlberta大学に移り、州内薬局での介入研究を実施。2019年帰国し現職。DrPH(社会健康医学博士)

セミナー要旨：

今回、薬局をクラスターとしたRCT、COMPASS-BP研究を紹介します。薬局で私が経験した生活習慣と関係の深い糖尿病や高血圧患者は、短時間の情報提供であっても自らの生活習慣を改善することでアウトカムが改善していくという経験を介入研究として明らかにしたものです。

主催：国立がん研究センター社会と健康研究センター行動科学研究部／健康支援研究部

N-EQUITY (健康格差是正のための実装科学ナショナルセンターコンソーシアム*)

*国立高度専門医療研究センター医療研究連携推進本部 (JH) 横断的研究推進費
「実装科学推進のための基盤構築事業」による活動

共催：RADISH (D&I科学研究会)、J-SUPPORT (日本がん支持療法研究グループ)

早稲田大学人間科学学術院

問い合わせ先：社会と健康研究センター 行動科学研究部 実装科学研究室 島津・齋藤
メールアドレス: impsci-sem@ml.res.ncc.go.jp